

## 令和七年度 高校卒業式 学校長式辞

早春の暖かな日差しを受け、桜のつぼみも膨らみ始めたこの良き日に、ご来賓の皆様、保護者の皆様のご臨席を賜り、ここに「第22回 静岡大成高等学校 卒業証書授与式」を挙行できますことは、大きな喜びであり、教職員を代表し、心よりお礼申し上げます。

保護者の皆様、本日はお子様のご卒業、誠におめでとうございませう。これまで、お子様の成長を一番近くで見守ってこられ、嬉しかったことや辛かったことなど様々な思いがよみがえってきているかと存じます。何かの本に「子どもの高校卒業は子育てからの卒業でもある」と書かれていたことを思い出します。親の手から離れていく我が子を目の前にされ、嬉しくもあり、寂しくもあるかとは思いますが、この3年間、本校の教育にご理解とご協力を賜りましたことに、あらためて心より感謝申し上げます。

203名の卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございませう。「凛々しきこと・優しきこと」の校訓のもと、勉強や部活動、学校行事や進路開拓に熱心に取り組み、無事高校の教育課程を修了されました。本当によく頑張りました。

みなさんは本校がコース制を導入して初の入学生ということもあり、新しい静岡大成高校のカタチを構築してくれました。また、最終学年としての今年度は、学校の重点目標として「自己実現」と「社会貢献」を掲げました。日々、目標達成に向けて努力している皆さんの姿を拝見し、尊敬と感謝の思いを抱いております。ここで、「人の幸せとは」について話をいたします。日本理化学工業という会社で会長を務められた大山泰弘氏が、ご自身の著書の中で「人の幸せ」についてこう述べられています。

人間にとっての究極の幸せは次の3つ。1つ、「人に愛されること」1つ、「人に褒められること」1つ、「人から必要とされること」さらに、これらの幸せを得るためには、まずは「自ら与える」ことを意識して行動することが大切だとも述べられています。つまり、人から愛されるためには、まず自分からその人を愛しなさい。人に褒められるためには、まず自分からその人の良いところを見つけ褒めて挙げなさい。人から必要とされるには、周りの人が助けを必要としないか自分から声をかけなさい。ということです。新しいステージでも、みなさん自身が幸せになり、周りの人も幸せにする存在になってくれることを願っています。

それでは、本日をもって一旦のお別れとなりますが、静岡大成高校は皆さんのホームであることを忘れないでください。我々教職員にとって、卒業生が成長した姿で母校を訪れてくれることはこの上ない喜びです。また、お会いできる日を楽しみにしています。皆さんのますますのご活躍を祈念し、式辞といたします。

令和八年三月二日

校長 堀 泰 之